

# 看護管理論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・土田幸子

科目担当者（職位・氏名）：講師・高橋明美

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：94

## ■ 授業概要

看護の提供に関わる管理システムの基本的な考え方から、看護組織を運営していくために必要な組織論・リーダーシップ論・管理理論などの基本的知識を教授する。また、より良い看護を提供するための管理方法と今日的課題・看護専門職としてのキャリア開発について考察する。

## ■ 到達目標

1. 看護管理の概念、看護を取り巻く諸制度について理解し、説明できる。
2. 看護サービスを提供するための組織のしくみについて理解し、説明できる。
3. 組織の一員として活動することの責務と役割を説明できる。
4. 看護者としての責務と役割を踏まえ、自己の目指す看護者としての姿を記述できる。
5. 看護管理の今日的課題について理解し、安全で質の高い看護を提供するために自己の能力を向上させていくことの必要性について説明できる。

## ■ 教育内容

看護の統合と実践

## ■ キーワード

看護の質の担保、安全管理、マネジメント、リーダーシップ、メンバーシップ、キャリア開発

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 看護管理とは	看護管理の定義・概念、 看護職に求められる責務・役割	土田
2	多職種との連携・協働	チームワーク、コミュニケーション リーダーシップ、メンバーシップ チームの一員に求められる協働のための行動	土田
3	看護マネジメントとは	看護マネジメントとは 「効率的・効果的に仕事をする」ということは 組織とその構造・機能 看護提供システム	土田
4	組織で取り組む看護活動	サービスマネジメント 働く人を活かすマネジメント モノの管理：物品・施設・設備環境 情報の管理 コストを考えた管理（経済的側面の管理）	高橋
5	看護と経営	医療と経済、看護にかかわる医療制度 病院経営と看護管理 レポート課題：後日提示する	高橋
6	看護の質の向上のための取り組み	看護管理と倫理 医療安全とリスク感性 医療・看護の質の評価	土田
7	看護活動を取り巻く法律・制度	看護管理に関連する法律、保健医療福祉政策と 最近の動向、看護と専門機関・職能団体	土田
8	看護職のキャリアマネジメント	社会人になるということ、キャリアとは、看護 専門職としてのキャリア発達 レポート課題：後日提示する	土田

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

レポート課題 30%、期末試験 70%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・レポートのフィードバックは、コメントを付して返却する。
- ・希望者に対して、試験日以降 2 週間以内に試験のフィードバックを行う。  
希望者は、試験、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版  
看護の統合と実践 ① 看護管理  
健康支援と社会保障 ④ 看護をめぐる法と制度

## ■ 参考書・参考資料等

- ・上泉和子他（2024）『系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践① 看護管理 第 11 版』医学書院  
他、適宜講義の中で紹介する。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業前：教科書の該当部分を読み、内容をノートに要約すること（30分）。
- ・授業後：ノート整理を行い内容が理解できているかどうかを確認すること（30分）。

## ■ 担当教員からのメッセージ

看護管理とは管理者だけが行うものではなく、適切で質の高い看護を提供するためにはすべての看護職者が意識して取り組むものです。よりよい看護を提供するために、個々の看護職者が果たすべき役割と責務について考えていきましょう。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 11 tsuchida★iwate-uhms.ac.jp、の土田に連絡下さい。

(※メールの際は★を@にしてください。事前予約を忘れずに。

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

看護師、主任看護師、教育師長、看護部長

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

無

## ■ 実務経験を活かした教育内容

病院の看護管理者としての実務経験を活かし、看護管理に関する講義を行います。